

平成13年度内陸文化交流室活動報告

平成13年

4月～5月

平成13年度内陸文化研究プロジェクトの募集

人文学部の教官に向けて募集をしたところ7件の応募があり、いずれのプロジェクトについても、内陸文化交流室が積極的に活動を支援することとした。

11月

人文学部から応募していた「内陸文化についての人文科学を基軸とした総合的研究」に、平成13年度教育改善推進費（学長裁量経費）の教育研究改革・改善プロジェクト経費が充てられることとなる。

→ 以後、内陸文化交流室が主体となって研究を推進する。

12月

松本広域連合との共同研究「松本広域圏内の地域観光資源についての調査・研究」開始

文化交流室が窓口となって、共同研究の実施に向けての交渉と準備に当たった。信州大学からは16名の人文学部の教官がスタッフとなって、観光に関する住民意識調査と人文観光資源発掘調査を行った。

平成14年

2月21日

松本広域観光フォーラム2002の開催（於・松本市中央公民館（Mウイング）〔人文学部と、アルプスの風ツアー推進会議、松本広域連合との共同主催。人文学部からは内陸文化交流室と文化情報論講座が企画・運営に参画。〕

「“信州”を活かす一環境と調和した観光地づくり」をテーマに、自然環境・文化環境と観光とのかかわり方について話し合うパネルディスカッションを行った。

パネリスト 吉兼秀夫（阪南大学国際コミュニケーション学部教授）

星野佳路（株式会社星野リゾート代表取締役社長）

中野美鹿（環境ジャーナリスト）

中嶋聞多（信州大学人文学部助教授）〔コーディネーター〕

研究レポート 信州大学応用情報学研究室

3月25日

『内陸文化研究』第2号発行